

## 評 価 票 ( I )

評価委員氏名     A    

### ○各プログラム／センターに関わる事項

	評価項目	評 価	コメント
(1) 栄養疫学 プログラム	【H20 年度実績】	/	・基本的な国の施策に関する研究も含んでおり、高く評価したい。
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(2) 健康増進 プログラム	【H20 年度実績】	/	・主として運動プログラムに特化しているが、良い成果を上げていることに注目したい。
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(3) 栄養教育 プログラム	【H20 年度実績】	/	・食育と佐久人間ドックでの肥満克服プログラムは所期の成果を上げていると判断した。
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(4) 基礎栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	・高タンパク質食での脳出血リスクの低下についての基礎的な研究は日本での統計データを裏付けているのを評価したい。
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		

	評価項目	評 価	コメント
(5) 食品保健機能 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トコトリエノールのCDでの包接体の生体利用率が向上した製品の開発、BBI の効果について今後の成果に期待したい。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(6) 情報センター	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ないスタッフで精力的な活動を行っている点を評価したい。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(7) 国際産学連携 センター	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外との交流、国際シンポジウムへの関与などが評価できる。</li> <li>・生物統計についても今回示されたデータは興味深い。</li> <li>・NRについても所期の成果を上げていると判断した。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(8) 臨床栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GeneX についてのデータは極めて高い新規性を持つものであり、高く評価したい。</li> <li>・KCNQ1 と 2 型糖尿病の相関も高く、アジア人での糖尿病発症の高さに影響を与えているのを確かめた点を高く評価したい。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		

## 評 価 票 (Ⅱ)

評価委員氏名     A    

### ○研究所全般にわたる事項

評 価 項 目	評 価	コ メ ン ト
①研究所の目的、理念に合致した運営がなされているか。	4	・特に問題なし
②効率的な組織・予算運営がなされているか。	4	〃
③研究成果は十分出ているか。 (学術論文、学会発表等)	4	〃
④倫理規定、倫理委員会は適切に運用されているか。	4	〃
⑤研究成果の社会への還元は適切になされているか。 (セミナーの開催、情報提供、知的財産の活用等)	4	〃
⑥他機関との連携や協力は適切になされているか。 (受託・共同研究、連携大学院、国際協力、人材育成等)	4	〃

### 総合的なコメント

・少ないスタッフでこれだけ多くのプロジェクトについて多大な成果を上げていることを高く評価したい。

#### 《評価の視点》 各プログラム／センターの評価項目

- a : 中期目標の達成に向けて調査研究・業務の方向性・実施は適切か。
- b : 中期目標の達成に向けてプロジェクト／センターは適切に運営されているか。
- c : 中期目標の達成に向けて年度計画は着実に実施されているか。
- d : 調査研究・業務の成果は論文、学会発表等を通じて発表、あるいは情報発信、社会還元されているか。
- e : 中期目標の達成に向けて次年度計画は妥当適切か。

#### 《評価の基準》

- 5 : たいへん優れている／目標を大きく上回る成果をあげている。
- 4 : 優れている／目標を十分達成している。
- 3 : 普通である／概ね目標を達成している。
- 2 : 劣っている／目標達成が十分でなく、改善の余地がある。
- 1 : 非常に劣っている／目標の達成状況が極めて不十分である。

# 評 価 票 ( I )

評価委員氏名          B

## ○各プログラム／センターに関わる事項

	評価項目	評 価	コメント
(1) 栄養疫学 プログラム	【H20 年度実績】	/	・選定テーマがおもしろく適切
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5		
(2) 健康増進 プログラム	【H20 年度実績】	/	・よく計画されている。長期チェックが望ましい。
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5		
(3) 栄養教育 プログラム	【H20 年度実績】	/	・よく計画され、実務的でさらに実施がうまく続くと良い結果が出そうであることと期待する。
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5		
(4) 基礎栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	・おもしろいテーマで良い成果が出ている。
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5		

	評価項目	評 価	コメント
(5) 食品保健機能 プログラム	【H20 年度実績】	/	・分析、勧告等良い対応がなされている。
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	5	
	【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	
(6) 情報センター	【H20 年度実績】	/	・対象者は消費者と専門職とすると、内容をその対象で分ける必要があるが、工夫されているようだが、消費者向けにも工夫されているのは良い情報発信と考えられる。
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
	【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5	
(7) 国際産学連携 センター	【H20 年度実績】	/	・海外の特に決められたカウンターとの十分な活動が行われている。NR支援の意義は大きい。
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
	【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	
(8) 臨床栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	・良く考えたプロジェクトである。
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
	【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5	

## 評 価 票 (Ⅱ)

評価委員氏名         B        

### ○研究所全般にわたる事項

評 価 項 目	評 価	コ メ ン ト
①研究所の目的、理念に合致した運営がなされているか。	5	・合致している。
②効率的な組織・予算運営がなされているか。	4	・各プロジェクトは十分な成果が出ているが、特に認められるものは重点化してもよい。
③研究成果は十分出ているか。 (学術論文、学会発表等)	5	・よく出ている。
④倫理規定、倫理委員会は適切に運用されているか。	4	・判断に十分な情報がなかった。
⑤研究成果の社会への還元は適切になされているか。 (セミナーの開催、情報提供、知的財産の活用等)	5	・社会還元は特に情報センターから行われている。
⑥他機関との連携や協力は適切になされているか。 (受託・共同研究、連携大学院、国際協力、人材育成等)	4	

### 総合的なコメント

<p>・概ね良い活動を行い、成果が十分に出ていると評価できる。</p>
-------------------------------------

《評価の視点》 各プログラム／センターの評価項目

- a : 中期目標の達成に向けて調査研究・業務の方向性・実施は適切か。
- b : 中期目標の達成に向けてプロジェクト／センターは適切に運営されているか。
- c : 中期目標の達成に向けて年度計画は着実に実施されているか。
- d : 調査研究・業務の成果は論文、学会発表等を通じて発表、あるいは情報発信、社会還元されているか。
- e : 中期目標の達成に向けて次年度計画は妥当適切か。

《評価の基準》

- 5 : たいへん優れている／目標を大きく上回る成果をあげている。
- 4 : 優れている／目標を十分達成している。
- 3 : 普通である／概ね目標を達成している。
- 2 : 劣っている／目標達成が十分でなく、改善の余地がある。
- 1 : 非常に劣っている／目標の達成状況が極めて不十分である。

## 評 価 票 ( I )

評価委員氏名     C    

### ○各プログラム／センターに関わる事項

	評価項目	評 価	コメント
(1) 栄養疫学 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を着実に実施して成果を挙げている。業務的研究が多く、その実績は評価される。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(2) 健康増進 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期目標達成に向けて平成 20 年度計画が十分進められている。介入研究やシステムティックレビュー等の成果も挙がっており、高く評価される。</li> <li>・休養プロジェクトをさらに推進するにはスタッフの補充（リーダーが併任）が必要ではないか。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(3) 栄養教育 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減量についてのリバウンドの研究は大変興味深く、かつ栄養教育の点で実践的意義が大きい。</li> <li>・次年度以降の成果を大いに期待している。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	3	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(4) 基礎栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説とそれを検証するための進め方が論理的である。研究成果も値が高いジャーナル (IF&gt;5) に発表されており、高く評価される。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		

	評価項目	評 価	コメント
(5) 食品保健機能 プログラム	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省に報告する食品分析が迅速に行われ、本プログラムの日常的業務が円滑であると認められる。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(6) 情報センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な内容の情報を研究所内及び所外の専門家と連携して発信するシステムが機能している。</li> <li>・国民のニーズに応える身近な問題も扱い、社会への貢献度は高い。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(7) 国際産学連携 センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿って、順調な活動がなされている。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(8) 臨床栄養 プログラム	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・極めて論理的な高レベルの研究が遂行され、成果が十分に挙がっている。ただしクスリによらないで「運動」による改善についても是非推進して欲しい。他のプログラムとも連携して。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		



## 評 価 票 (Ⅱ)

評価委員氏名           C          

### ○研究所全般にわたる事項

評 価 項 目	評 価	コ メ ン ト
①研究所の目的、理念に合致した運営がなされているか。	4	
②効率的な組織・予算運営がなされているか。	4	
③研究成果は十分出ているか。 (学術論文、学会発表等)	5	
④倫理規定、倫理委員会は適切に運用されているか。	4	
⑤研究成果の社会への還元は適切になされているか。 (セミナーの開催、情報提供、知的財産の活用等)	5	
⑥他機関との連携や協力は適切になされているか。 (受託・共同研究、連携大学院、国際協力、人材育成等)	4	

### 総合的なコメント

・プログラムリーダーの下、少人数のスタッフ（常勤）が目的意識を持って取り組んでいる様子が伺え、十分な成果が挙げられていることは高く評価される。今後は、各プロジェクトの独自性を尊重しながらプログラム・プロジェクト間の横のつながりに更に留意して、研究所として一貫性（さらに）のある取り組みを進めて欲しい。

《評価の視点》 各プログラム／センターの評価項目

- a : 中期目標の達成に向けて調査研究・業務の方向性・実施は適切か。
- b : 中期目標の達成に向けてプロジェクト／センターは適切に運営されているか。
- c : 中期目標の達成に向けて年度計画は着実に実施されているか。
- d : 調査研究・業務の成果は論文、学会発表等を通じて発表、あるいは情報発信、社会還元されているか。
- e : 中期目標の達成に向けて次年度計画は妥当適切か。

《評価の基準》

- 5 : たいへん優れている／目標を大きく上回る成果をあげている。
- 4 : 優れている／目標を十分達成している。
- 3 : 普通である／概ね目標を達成している。
- 2 : 劣っている／目標達成が十分でなく、改善の余地がある。
- 1 : 非常に劣っている／目標の達成状況が極めて不十分である。

## 評 価 票 ( I )

評価委員氏名         D        

### ○各プログラム／センターに関わる事項

	評価項目	評 価	コメント
(1) 栄養疫学 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康・栄養調査では、行政栄養士を対象とした研修会の開催やソフトの開発などが行われ、調査の精度や標準化につながり評価できる。</li> <li>・今後も国立健康・栄養研究所でしか行えない研究に期待する。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(2) 健康増進 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践に結びついた各プロジェクトの調査研究がなされており、成果が認められる。</li> <li>・ライフステージ別の対応を望む。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(3) 栄養教育 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満克服プログラムの介入結果の分析など効果的な指導方法が求められるなか、評価できる。</li> <li>・嚥下困難食の標準化は正確な方法を理解した上での対応となるよう注意を欲しい。</li> <li>・エビデンスのある指導法になることを期待する。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(4) 基礎栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践栄養の基礎となる研究であり、成果評価できる。</li> <li>・成果に期待する。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		

	評価項目	評 価	コメント
(5) 食品保健機能 プログラム	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗酸化力の研究は単品でなく、調理品で検討されている所が実践的で評価できる。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	・引き続きの成果を期待する。	
(6) 情報センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた人数で多くの情報発信をしており評価できる。</li> <li>・また、信頼できる情報の提供を求める人達への対応も認められる。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5	・引き続きの成果を期待する。	
(7) 国際産学連携 センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・NR取得者のフォローアップや一般向けセミナーなどの国内対応、国際的な対応や生物統計まで幅広い内容での対応がされており、評価できる。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	・国内外の研究者、他機関とのさらなる交流を望む。	
(8) 臨床栄養 プログラム	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の糖尿病やメタボリックシンドロームの解明に関する研究成果が出ており、評価できる。</li> <li>・モデル動物から最終的には人の食事療法や運動療法へとつなげて欲しい。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	・引き続きの成果を期待する。	

## 評 価 票 (Ⅱ)

評価委員氏名         D        

### ○研究所全般にわたる事項

評 価 項 目	評 価	コ メ ン ト
①研究所の目的、理念に合致した運営がなされているか。	5	・評価できる。
②効率的な組織・予算運営がなされているか。	4	・限られた人員、予算のなかで運営されている。
③研究成果は十分出ているか。 (学術論文、学会発表等)	4	・各プログラムにおいて、成果が認められる。
④倫理規定、倫理委員会は適切に運用されているか。	4	・評価できる。
⑤研究成果の社会への還元は適切になされているか。 (セミナーの開催、情報提供、知的財産の活用等)	5	・信頼できる情報提供の場となるよう、引き続きの活動を望む。
⑥他機関との連携や協力は適切になされているか。 (受託・共同研究、連携大学院、国際協力、人材育成等)	4	・今後も継続し、研究所だけではできない成果を望む。

### 総合的なコメント

<p>・数年前に比べると、基礎の研究だけではなく、実践に伴った研究活動も多くなってきている。また情報発信も行われており、研究所で行われている研究等が分かりやすくなってきている。</p>
--

《評価の視点》 各プログラム／センターの評価項目

- a : 中期目標の達成に向けて調査研究・業務の方向性・実施は適切か。
- b : 中期目標の達成に向けてプロジェクト／センターは適切に運営されているか。
- c : 中期目標の達成に向けて年度計画は着実に実施されているか。
- d : 調査研究・業務の成果は論文、学会発表等を通じて発表、あるいは情報発信、社会還元されているか。
- e : 中期目標の達成に向けて次年度計画は妥当適切か。

《評価の基準》

- 5 : たいへん優れている／目標を大きく上回る成果をあげている。
- 4 : 優れている／目標を十分達成している。
- 3 : 普通である／概ね目標を達成している。
- 2 : 劣っている／目標達成が十分でなく、改善の余地がある。
- 1 : 非常に劣っている／目標の達成状況が極めて不十分である。

# 評 価 票 ( I )

評価委員氏名           E          

## ○各プログラム／センターに関わる事項

	評価項目	評 価	コメント
(1) 栄養疫学 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児のミネラル摂取については、より広汎なデータが望まれる。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5		
(2) 健康増進 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者への運動の効果を明確に示すデータが望まれる。</li> <li>・ 普通の勤労者の過労と健康の問題に取り組んで欲しい。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(3) 栄養教育 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低体重児の追跡調査は重要なテーマである。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5		
(4) 基礎栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		

	評価項目	評 価	コメント
(5) 食品保健機能 プログラム	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食品の抗酸化力についてはデータも多く見られるため、上手に対比させてまとめて欲しい。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(6) 情報センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公開情報はよく利用されていることから、出来るだけ多くの情報を公開して欲しい。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5		
(7) 国際産学連携 センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>• NR資格取得者のフォローアップに今以上力を入れる必要がある。</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(8) 臨床栄養 プログラム	【H20 年度実績】		
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	5	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		

## 評 価 票 (Ⅱ)

評価委員氏名           E          

### ○研究所全般にわたる事項

評 価 項 目	評 価	コ メ ン ト
①研究所の目的、理念に合致した運営がなされているか。	4	・ 基礎研究と応用の融合を望む。
②効率的な組織・予算運営がなされているか。	5	・ 組織的に良く運営されている。
③研究成果は十分出ているか。 (学術論文、学会発表等)	5	・ 努力されている。
④倫理規定、倫理委員会は適切に運用されているか。	5	
⑤研究成果の社会への還元は適切になされているか。 (セミナーの開催、情報提供、知的財産の活用等)	5	・ 情報の公開がうまくなされている。
⑥他機関との連携や協力は適切になされているか。 (受託・共同研究、連携大学院、国際協力、人材育成等)	4	・ 小さな機関ではあるが、分野毎に良くまとめ、成果を挙げている。

### 総合的なコメント

<p>・ 小さな機関ではあるが、分野毎によくまとめ成果を挙げている。</p>
--

《評価の視点》 各プログラム／センターの評価項目

- a : 中期目標の達成に向けて調査研究・業務の方向性・実施は適切か。
- b : 中期目標の達成に向けてプロジェクト／センターは適切に運営されているか。
- c : 中期目標の達成に向けて年度計画は着実に実施されているか。
- d : 調査研究・業務の成果は論文、学会発表等を通じて発表、あるいは情報発信、社会還元されているか。
- e : 中期目標の達成に向けて次年度計画は妥当適切か。

《評価の基準》

- 5 : たいへん優れている／目標を大きく上回る成果をあげている。
- 4 : 優れている／目標を十分達成している。
- 3 : 普通である／概ね目標を達成している。
- 2 : 劣っている／目標達成が十分でなく、改善の余地がある。
- 1 : 非常に劣っている／目標の達成状況が極めて不十分である。

## 評 価 票 ( I )

評価委員氏名         F        

### ○各プログラム／センターに関わる事項

	評価項目	評 価	コメント
(1) 栄養疫学 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立健康・栄養調査「ソフトウェア」作成</li> <li>・食事摂取基準 2010 年版策定、データベース構築</li> <li>・VK21 骨折予防、エクオール 3～5、ミネラル R3P4</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	3	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	・生体指標プロジェクトの研究成果に期待します。	
(2) 健康増進 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・L S Tによる高齢者の筋力アップの成果興味深い。</li> <li>・日本の小学生から中学生のデータがないことは問題です。早い時期に日本の子どもの身体活動レベルの解明を早急にお願いします。睡眠の研究はどうか？</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	3	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	3	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(3) 栄養教育 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育プロジェクト：新しい取り組みに期待します。内閣府との共同のことなので、縦割り行政の壁を取り払った成果を期待します。</li> <li>・高齢者の食介護も現実の大問題ですので、改善策実践的な取り組みに期待します。</li> <li>・栄養ケア・マネジメントプロジェクト：引き続き研究・調査を期待します。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	5	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4		
(4) 基礎栄養 プログラム	【H20 年度実績】	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脂肪肝予防食の基礎研究は興味深い。βコングリシン 人ではどうか？</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	・モデル動物での成果をヒトにまで発展させて欲しい。	



	評価項目	評 価	コメント
(5) 食品保健機能 プログラム	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定業務でいっばいのようなですね。</li> <li>・補完成分プロジェクト：動物実験、オージーとの中皮腫、共同研究</li> <li>・食品機能プロジェクト：抗酸化力の測定、一般の人に伝わるのか。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	3	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	4	・食品機能評価は数値だけが一人歩きしないようにして欲しいと思います。	
(6) 情報センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康食品」のデータベースは軌道に乗ったと思います。知ろうと思えば現時点で最新の情報が丁寧にまとめられています。私も利用者の一人です。朝日新聞の引用記事では、記者が取材をしないで原稿にしまうのかと思いました。</li> </ul>
	a. 計画の実施	4	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	5	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5	・栄養療法エビデンス情報は待っていました。わらをも掴む思いの方に役立つようにお願いします。	
(7) 国際産学連携 センター	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2008 年は日本で初めて国際栄養士会議が開催された記念すべき年でした今後も交流が図られることを期待します。</li> <li>・NR 養成講座は、資格取得後、その成果が社会に還元されているか気になります。</li> </ul>
	a. 計画の実施	3	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	3	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年と特に変わったことはないと思います。</li> <li>・NR については、現場で役立っているのか気になります。</li> </ul>	
(8) 臨床栄養 プログラム	【H20 年度実績】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝因子の同定、糖尿病感受性、GeneX 欠損の研究は、大変興味深い。</li> <li>・日本人の DM 患者数減に役立てて欲しい。</li> <li>・KCNQ1、糖尿病の予防や治療に役立つ研究ですね。</li> <li>・血管内皮機能改善薬、高脂肪食はアジア人には不適當な食事ということが明らかになっているわけで、食事摂取基準の死亡エネルギー比率の見直しが必要なのではないでしょうか？</li> </ul>
	a. 計画の実施	5	
	b. 運営の方法	4	
	c. 目標の達成	4	
	d. 成果の発信	4	
【H21 年度計画】 e. 計画の妥当性	5	・高脂肪食のインスリン抵抗性と日本人の遺伝的宿命を明らかにして、これ以上患者数が増えないようにしなければと思います。継続して計画を進めて下さい。	

## 評 価 票 (Ⅱ)

評価委員氏名         F        

### ○研究所全般にわたる事項

評 価 項 目	評 価	コ メ ン ト
①研究所の目的、理念に合致した運営がなされているか。	4	・日本人の健康増進のための基礎応用研究→実践までなされていると思います。
②効率的な組織・予算運営がなされているか。	4	・事務方の人員についてはわかりませんが、研究職の人は少ない人数でよくやっていると思います。
③研究成果は十分出ているか。 (学術論文、学会発表等)	4	
④倫理規定、倫理委員会は適切に運用されているか。	3	・今回の報告ではよくわからなかったので、「3」の評価としました。
⑤研究成果の社会への還元は適切になされているか。 (セミナーの開催、情報提供、知的財産の活用等)	4	・オープンハウス、講演活動、ホームページでの情報提供がよくなされています。引き続きよろしくお願いします。
⑥他機関との連携や協力は適切になされているか。 (受託・共同研究、連携大学院、国際協力、人材育成等)	4	・産学共同、海外からの研究者の受け入れ、若手研究者の育成に尽力されていることがわかりました。

### 総合的なコメント

<p>・平成 22 年度に統合される医薬基盤研究所との組織・業務のあり方は検討されていると思いますが、その利便性を前向きにとらえ、薬と食品との相互作用についての研究も期待します。</p> <p>・日本人の遺伝的特性と食生活、疾病との関連を解明し、その方たちはどういう食生活や運動が望ましいか、実践に結びつく方法で示して欲しいと思います。そしてアジアの研究拠点として下さい。</p>
--

《評価の視点》 各プログラム／センターの評価項目

- a : 中期目標の達成に向けて調査研究・業務の方向性・実施は適切か。
- b : 中期目標の達成に向けてプロジェクト／センターは適切に運営されているか。
- c : 中期目標の達成に向けて年度計画は着実に実施されているか。
- d : 調査研究・業務の成果は論文、学会発表等を通じて発表、あるいは情報発信、社会還元されているか。
- e : 中期目標の達成に向けて次年度計画は妥当適切か。

《評価の基準》

- 5 : たいへん優れている／目標を大きく上回る成果をあげている。
- 4 : 優れている／目標を十分達成している。
- 3 : 普通である／概ね目標を達成している。
- 2 : 劣っている／目標達成が十分でなく、改善の余地がある。
- 1 : 非常に劣っている／目標の達成状況が極めて不十分である。